

# かけはし

常総市議会だより



## 目次

Page 2-3

かけはしインタビュー  
鬼怒中学校  
(最後の卒業生・校長先生)

Page 4-10

かけはし一般質問  
3月定例会議

Page 11-13

審議案件と結果  
3月定例会議

Page 14-15

ありがとう鬼怒中学校  
審議・可決した予算の主な事業

Page 16

常総橋百景  
「第十八景 豊水橋」  
6月定例会議予定

## No.250

発行月：2025年5月  
責任者：常総市議会議長  
編集：議会広報委員会  
発行：常総市議会  
0297-22-0318  
www.city.joso.lg.jp

動画でみる  
常総市議会





# 鬼怒中学校 十八の絆

## かけはし インタビュー

### 市議会 × 鬼怒中学校 (最後の卒業生・校長先生)

#### 議会

学校スローガンに「今こそ「真価」「進化」for Big Smile」とありますが、学校生活を通じて「進化」したことを教えてください。

#### 鬼怒中学校卒業生 A

入学当初は、自分の意見を発言したり行動したりすることが苦手で、周りの空気に流されてしまうことがとても多かったです。しかし、学校行事や日々の学校生活で、自分たちで考え行動する機会が増えたことで、コミュニケーションをとり、意思の疎通を図ることが自然とできるようになりました。また、「鬼怒中学校最後の卒業生」という自覚が全員に芽生え、閉校に向けた様々な活動で、自分たちの行動に責任をもち、真剣に取り組むことができるようになりました。

#### 鬼怒中学校卒業生 B

周りを見て行動することができるようになりました。入学した当初は自分のことで精一杯で、周りの状況に気を配る余裕がありませんでした。しかし、学校生活を通して、周りの状況を見て行動することの大切さを学びました。例えば体育祭では、競技に集中するだけでなく、精一杯仲間を応援したり、準備や片付けを進んで行ったりすることで、皆が気持ちよく過ごせるように心掛けました。私が考える「進化」とは、ただ自分が成長するだけでなく、周りの人のことを考えながら行動し、皆でよりよい環境をつくることです。鬼怒中学校での経験をもとに、さらに「進化」していきたいです。

先生たちの力を借りながら  
作詞から作曲まですべて卒業生  
18人で作った学級歌です

### 学級歌

#### 「十八の絆」

校門をくぐった日  
春の花 ほのかに香り  
智勇をもった仲間  
追い風に背中押された  
真理を求め自由探して  
夏の空に叫んだ  
美しく強い仲間  
優しい言葉で勇気与えた  
背中の羽を広げ  
翔んでいこうどこまでも  
奏でる音が重なる俵せ  
心一つに  
この佳き日に讃えよう  
十八の絆  
眩い陽光見上げて  
笑顔で「ありがとう」  
いつかまた会おう



### 議会

同級生や先生、見守ってくれた保護者や地域の皆さんへメッセージをお願いします。

#### 鬼怒中学校卒業生A

僕は引っ込み思案な性格でしたが、そんな僕が成長できたのは、同級生や先生方のおかげです。入学した当初は、新しい環境に慣れることに苦労しましたが、同級生との会話や先生からのアドバイスが心の支えになっていました。この3年間のすべての出来事は、必ず僕の将来に生きてくると思います。鬼怒中学校は閉校しますが、この学校で共に3年間を過ごしたという事実は決して消えませんが先生方や同級生の皆には感謝しかありません。

また、僕は3年間の中学校生活で、体育祭や文化祭などの学校行事がとても楽しい思い出として心に残っています。それは保護者や地域の皆さんのおかげであることを改めて実感しました。僕たち18人しかない状況で、学校行事を盛り上げることができると不安でしたが、保護者や地域の皆さんが支えてくださったおかげで、最高の思い出にすることができました。

#### 鬼怒中学校卒業生B

鬼怒中学校で過ごした3年間は、どんな言葉でも言い表せないほど充実した時間でした。友達と一緒に笑い、時には涙を流し、お互いに支え合いながら成長することができました。また、先生方がいつもあたたかく見守り、導いてくれたおかげで、私たちはここまで成長することができました。母校が閉校すること

はとても寂しいですが、鬼怒中学校での思い出や学んだこと、仲間との絆は、永遠に私たちの心の中に残ります。そして同級生の皆、これからそれぞれの道を進むけれど、私たちはどこにいても、ずっと鬼怒中の仲間です。

また、私たちが不自由なく鬼怒中学校で過ごすことができたのは、保護者の皆さんの見守りや地域の方々への支えがあったからです。いつもあたたかく見守り、励ましてくださった、ありがとうございます。この鬼怒中学校で安心して学び、成長できる環境をつくりあげていただいたことに感謝しています。この地域の一員として過ごせたことを誇りに思っています。鬼怒中学校で学んだことや多くの方から支えていただいたことは、私たちが未来を切り拓く大きな力となりました。本当にありがとうございます。

### 議会

校長先生から生徒の皆さんへメッセージをお願いします。

### 校長

新しい生活、新たな出会いにより、きっと母校の鬼怒中学校が自分にとって大切なところだったことを感じると思います。これまで挑戦してきたこと、経験して学んだこと、達成して充実感を得たことが、皆さんの可能性を育てています。これから、鬼怒中卒業生としての誇りと自信をもって、楽しさ、喜びを感じる心で、自分も周りの人たちも笑顔にしていきましょう。誰とでも、どこでも、いつでも、笑顔が輝くよう願っています。

(令和7年3月インタビュー)



柴典明 議員

質問

農地の集約について

答弁

儲かる農業の実践に向け  
様々な取り組みを实践する

柴議員の  
質問動画



議員

今後の担い手農家の件数と耕作面積の見通しを伺う。

産業振興部長

全国的な人口減少社会を迎える中で、担い手農家数も高齢化により年々減少していくと推測している。今後は耕作されない農地を誰が引き受けて、どのように活用していくのが課題となると考える。

議員

農地の集積率と今後の見通しについて伺う。

産業振興部長

当市の集積状況は正確に把握できていないが、集積率が向上していることは確認している。

議員

農地集約がどのように進んでいるか、優良事例と併せて伺う。

産業振興部長

令和4年度から6年度までの3年間、県の補助事業である農地集約型大規模水田経営体育成加速化事業、通称新メガファーム事業を活用し、農地集約を進めてきた。

議員

今後担い手農家の経営を維持し、

新たな遊休地を増やさないための市の考えと、対策を伺う。

産業振興部長

令和5年4月1日の農業経営基盤強化促進法の一部改正により、地域の話し合いに基づき将来の農地利用の姿を明確にした地域計画を作成することとなった。具体的には、市内を5地区に分け、関係機関団体との座談会を年に複数回開催し、地域が抱える課題や担い手農家自身の課題だけでなく今後の解決策を検討し、十年後の地域の姿を想定した目標地図の最終案を完成させた。今後は定期的に見直しを行うことで、農地の集積や集約化及び耕作放棄地減少につながると考える。

議員

市長の集約について考えを伺う。

市長

大事なのは儲かる農業にしておくことだと考える。集約化・デジタル化をすすめる、販売戦略も集客が多い道の駅、ふるさと納税でも米をしっかりと販売できるようにし、高付加価値の儲かる農業を実践していきたい。



塚本 治男 議員

質問

当市のふるさと納税の現状と今後の展望について

答弁

農産物を主力返礼品として  
納税額を増やして行きたい

塚本議員の  
質問動画



議員

ふるさと納税の仕組みは「寄付額の3割以内」であることや、地元産品との関連性を重視した返礼品に設定され、制度を活用できる当市のような、農産物・特産物を豊富に有する自治体こそ、ふるさと納税に選ばれる自治体になり得ると考える。地元で生産された農産物を返礼品として取り入れ、当市の優位性を活かした戦略を展開すれば、多くの納税を見込めると考える。当市のふるさと納税の取り組み状況と過去5年間の納税額について伺う。

総務部長

取組状況は、既存返礼品の強化及び新規返礼品の拡充を行っている。過去5年間の納税額は、令和元年度は約2億3百万円、2年度約2億2千4百万円、3年度約3億1千2百万円、4年度約3億5千5百万円、5年度は約3億8千万円である。

議員

返礼品及びその中の重点品目は何か、さらに農産品(米・野菜・果物)の割合について伺う。

総務部長

重点品目は魚介類、肉類などで、農産物(米・果物)の割合は返礼品全560品目中、18品目である。

議員

過去5年間の返礼品としての米の納税額と今後、米を返礼品の主力に据えていく考えはあるか伺う。

総務部長

米の寄附額は、令和元年度約6百万円、2年度約137万円、3年度約91万円、4年度約183万円、5年度約60万円である。米を当市の主力返礼品としてPRに力を入れていく。

議員

今後ふるさと納税受入額をどのように増加させていくか、取り組み体制について市長の考えを伺う。

市長

納税額は年々伸びているが、目標額には届いていない状況である。生産者と企業、職員、委託事業者が連携して納税額を増やしていく。

議員

常総市の優位性は新鮮な農産物の産地であること。その可能性を引き出してもらいたい。



石塚 剛 議員

質問 公共下水道（汚水）の現状と今後について

答弁 下水道整備について計画的に進めてまいりたい

石塚議員の質問動画



議員

過去の公共下水道管要因による道路陥没事故の発生を伺う。

都市建設部長

平成28年に坂手町地区の市道上において、下水道管が腐食し、一部道路が陥没した事例が1件あった。

議員

公共下水道管（汚水）の設置状況と経過年数について伺う。

都市建設部長

北海道中央区域は約80km、経過年数は約22年、内守谷区域は約16.3km、経過年数は約25年、大生郷特定公共下水道区域は約9.9km、経過年数は約43年、石下区域は約60.8km、経過年数は約23年である。

議員

八潮市の道路陥没事故を受けた国からの一斉点検の指示に対し、市の対応を伺う。

都市建設部長

通達に規定された施設はなかったが、市内の公共下水道汚水管路を緊急点検した結果、道路陥没の恐れがある箇所はなかった。

議員

下水道事業の課題について伺う。

都市建設部長

当市の下水道も今後経過年数50年を超える管路が増え、更新に多大なコストがかかる。安定した収入増が必要となるが財政面において持続可能性が危惧されている。

議員

今後の下水道事業、ウォーターPPP導入提案について伺う。

都市建設部長

当市は生活排水ベストプラン及び公共下水道施設ストックマネジメント計画を策定している。今後は公共下水道全体計画を改定し、下水道整備を計画的に進めていく。ウォーターPPPについては情報収集を行っている。人口減少、施設の老朽化、技術者の不足等の問題解決に向け、導入可能性調査を実施し、方向性を決定していく。

議員

管路更新の多大なコスト等、課題の対処が重要であると考える。市民の生活環境や安全を守るためにもより一層の注力をお願いする。

【その他の質問】

★带状疱疹ワクチン定期接種の対応について



草間 典夫 議員

質問 鬼怒中学校跡地：「わせがく」への期待と可能性について

答弁 夢を持つ子どもたちに対して真剣に向き合い育てる学び舎の継続に期待する

草間議員の質問動画



議員

早稲田学園「わせがく」とは、どのような学校なのかを伺う。

市長公室長

通学選択式、単位制・通信制課程普通科の高等学校である。また、自由をつかみとろう、個性を輝かせよう、夢を持ち続けようの三つの教育方針を掲げ、自立した将来を実現する学校、失敗してもやり直せる学校、夢を育む、夢を応援する学校として運営をしている。

議員

鬼怒中学校施設全体の利用計画（改修含む）と、地域活性化及び地域との連携や協調について伺う。

市長公室長

通学して指導を受けるスクーリングや補習授業、部活動の実施とともに、早稲田学園高等部門の教職員研究施設としても活用する。校舎2棟は普通及び特別教室として、技術棟はトレーニングルーム、体育館は体育授業及び部活動武道場は体育授業及びダンス等の部活動、運動場は体育授業及び野球等の部活動として活用する提案である。

資産活用課長

災害時の避難場所としての施設提供、鬼怒中学校の歴史や伝統に係る展示コーナー設置、鬼怒川サイクリングロード清掃ボランティア活動などの連携を提案している。

議員

隣接する三妻小学校の児童に対し、時間帯が異なる学校生活面への配慮及び通学路安全対策を伺う。

資産活用課長

わせがく生徒の通学手段等の把握と三妻小学校の登下校時刻及び経路、日課などの情報を共有し、児童の落ち着いた学校生活や安全対策について配慮していく。

議員

開校に向けての今後の予定及び期待と可能性について伺う。

市長公室長

令和8年4月に高等学校開設を目指す計画である。

市長

学び舎の継続として、夢を持つ子どもたちに対して真剣に向き合い育てる「わせがく」との連携が、市内の小中学生、高校生の刺激になってくれるものと期待する。

用語 【早稲田学園（わせがく）】 1953年に早稲田研究所として創立、1955年に早稲田予備校に改称し各種学校として認可。1968年に学校法人早稲田学園に変更し、通学選択式、単位制・通信制課程普通科の高等学校として、わせがく高等学校（千葉県多古町）、わせがく夢育高等学校（埼玉県飯能市）を運営。茨城県内にも水戸市、古河市、守谷市にキャンパスを開設。

一般質問



吉原 晴照 議員

質問

保育所及び幼稚園の現状について

答弁

市立の保育所・幼稚園は、少子化の影響で在籍数が大幅に減少している

吉原議員の質問動画



一般質問

議員

公立保育所5か所の定員数に対して、過不足を施設ごとに伺う。

福祉部長

令和6年度12月1日時点における在籍人数について、第一保育所は25名(定員66名)、第二保育所は24名(定員48名)、第三保育所は74名(定員120名)、第四保育所は55名(定員95名)第六保育所は、71名(定員125名)となっている。

議員

公立保育所は、各保育所とも定員に対して、在籍数が大幅に減少している中で、第二保育所は今年度(令和7年3月末)で閉所の予定になるが、来年度以降の計画は出来ているのか伺う。

こども課長

第二保育所は今年度で閉所となるが、その後の施設活用は現在、未定である。当保育所は、三妻小学校の敷地と校舎の一部を使用しているの、小学校と連携した事業展開を視野に、今後、庁内や関係機関と検討する。

議員

公立幼稚園2か所の定員数に対

しての過不足を施設ごとに伺う。

教育部長

令和6年度の在籍数は、おひさま幼稚園は在籍31名(定員105名)、にじいろ幼稚園は94名(定員210名)となっている。

議員

公立幼稚園の現状と少子化に対応すべき運営等について、今後の課題を伺う。

教育部長

園児数の減少は、少子化の影響や、保育所を希望する割合の増加が主な要因であると考える。入園希望者の減少がさらに継続するときは、適正規模での幼児教育を行うために、統廃合など適正配置の検討が必要であり、今後の課題と考える。

議員

公共の保育所及び幼稚園の現状を伺い、両施設は、少子化の影響で統廃合の検討が必要と考える。一方で、当市として、地域の状況や保護者のニーズをもとに若者が移住、定住し、子育てができるためのインフラ整備及び教育環境や保育サービスの整備が必要である。



柳井 真吾 議員

質問

結婚支援対策の推進について

答弁

相談者一人一人に寄り添った丁寧な支援を引き続き行っていく

柳井議員の質問動画



議員

当市においても、少子化を取り巻く社会状況が悪化しており、それを打開するために、結婚支援対策の推進は必要不可欠と考える。県では、結婚、婚活支援として、いばらき出会いサポートセンターを運営しているが、取り組みの内容や当市の関わりについて伺う。

市民生活部長

主な取り組みは、会員制によるパートナー探しの支援、市町村やNPO法人などが行うパーティーやイベントの支援、マリッジサポーターによる出会いの相談・仲介などを行っている。市の関わりは、いばらき出会いサポートセンターとの共催イベントを令和5年度に開催したほか、市主催の婚活イベントへの後援などをしていただいている。また、いばらき出会いサポートセンターが運営する公的な結婚支援サービス「であいバ」は、入会の際に登録するプロフィールや価値観診断テストの結果を基に、AIにより、相性がよいと思われる相手を紹介するAIマッチングシステムや、オンラインによるお

見合いを導入している。

議員

一人でも多くの方に「であいバ」を利用し、出会いの場を広げていただきたい。県内で助成を行っている自治体もある。当市においても、独自の入会登録料の助成事業を提案するが、市の考えを伺う。

市民生活部長

現在、当市では「であいバ」の入会登録料の助成について検討していないが、市が支援するふれあいサポーター連絡会や、結婚支援事業を行う市民活動団体が結婚を希望する方に向けた支援を行っている。それぞれ入会金は無料であり、経験豊富な方々が結婚に関する相談会や婚活イベントによる出会いの場づくりのため、積極的に活動していただいている。今後も相談会や婚活イベントを通して、他自治体にはない、相談者一人一人に寄り添った丁寧な支援を引き続き行っていく。

議員

さらなる結婚支援対策の推進を「こどもまんなかまちづくり」と同時進行で行うようお願いする。



岡野 一男 議員

質問

防犯・防災に役立つ街路灯を  
導入する考えはあるか

答弁

補助を含めて検討していきたい

岡野議員の  
質問動画



議員

防犯・防災の観点から、防犯灯・防犯カメラについて伺う。

防犯灯の電気料金は、12月使用分から、各自治会負担から市負担へと移行された。自治会にとって、この電気料金は大きな負担だったため、今回の処置は歓迎している。まず、当市の防犯灯の数はどのくらい設置しているか伺う。

市長公室長

市では、安全な地域づくりのための環境整備として、夜間における犯罪、事故等の発生防止と安全安心な市民生活の向上を目的として防犯灯の設置を進めており、現在、約5300基の防犯灯を設置している。

議員

1か月あたりの電気料金を伺う。  
約160万円である。

防災危機管理課長

議員

防犯灯そのものは大変進化していて、多くの機能を備えた防犯灯が市に出回っている。今後、多機能を備えた防犯灯を導入する考えはあるか伺う。

防災危機管理課長

デジタル看板や無線ネットワーク、各種センサーなど様々な機能を備えた防犯灯があり、様々な分野で活用できる設備であることは承知しているが、高額な商品であるため、耐用年数、価格、費用対効果など検討していく必要がある。

議員

災害時には停電する可能性がある。外部電力に頼ることなく照明を確保するソーラー式の防犯灯を設置、導入する考えはあるか伺う。

防災危機管理課長

ソーラー式の防犯灯・防犯カメラは災害時に有効活用できる設備であると考えるが、関係各課と協議、検討をしていく。

議員

カメラを備えた防犯灯を各地区の集積所にも設置できるよう補助の対象にしていきたい。

市長公室長

補助事業については、今後検討していく。



入江 越史 議員

質問

窓口対応の改善について

答弁

地方公務員は、全体の奉仕者であることを念頭に職務を遂行している

入江議員の  
質問動画



議員

窓口対応におけるたらい回しの防止策をどのようにしていくのか。

市長公室長

当市においても総合案内窓口を設置し、担当部署を案内するとともに、例えば住民窓口では手続きに応じて必要な部署だけを回れるように紙の案内票を作成し案内するなどを行っている。また、相談内容によっては、一つの窓口において関係する課の職員が順番に入れ替わり対応するなどを行っている。

議員

呼び鈴がある課とない課がある。庁舎の案内板も、どの課で何の業務をしているか分からない。この点も検討の対象ではないかと考える。

続いて接遇時の配慮について伺う。市役所に行った際、サービスの提供を滞りなく受けられなかった、サービスの提供を渋られたように感じたという市民の方からの声をいただくことがあった。地方公務員法第30条、憲法第15条の2項に、すべての公務員は全体の奉

仕者であって、一部の奉仕者ではないという定めがある。職員が全体の奉仕者という立場であること

を確認させてもらいたい。

総務部長

地方公務員は、地方公務員法第30条における全体の奉仕者であることを念頭に職務を遂行している。要件を満たしていないため支援や市民サービスを受けられない場合もあるが、そのような場合であっても、市民の方の権利を尊重した上で懇切丁寧に説明をし、配慮に欠けることがないよう努めている。

議員

阪神・淡路大震災の復旧復興を陣頭指揮された当時の兵庫県知事、貝原俊民氏の言葉に「県民の命は言うに及ばず、県土の一木一草に至るまで責任を負う」というものがある。責任感を持っていただいていると思うが、どうか今後も業務に励んでいただきたい。





堀越 道男 議員

質問

学童保育の理念について

答弁  
子どもの意見を尊重する場として  
主体性、創造性を育む場である

堀越議員の  
質問動画



議員

学童保育の年間の運営状況、特に夏休みの対応、また児童支援員の有資格、無資格者の状況について伺う。

福祉部長

児童一人につき、1・65㎡以上の面積を基準に各クラブの利用可能人数を決定している。夏休み期間中でも一人当たりの面積は基準値以内で収まっている。支援者の資格については、有資格者は48名、見込み3名、無資格者が37名である。

議員

学童保育は子どもの権利を守られる立場だと思いが、理念について伺う。

福祉部長

児童クラブ運営指針では、子どもが安心して過ごせる場、子どもの利益が最大限尊重されるよう配慮することである。単に子どもを預かる場所としてではなく自主性、社会性、創造性を育む場として位置づけている。今年の1月に子ども家庭庁から、放課後児童クラブ運営指針が改正され、子どもの権

利に関する項目が盛り込まれたので、子どもの意見を反映する仕組みを充実させ、クラブの中でルールづくりを考えていきたい。

議員

ある学童であった件だが、子どもの意見を聞かずに、支援者の話のみで退会を命じられるということがあったが、市と指定管理者の対応について伺う。

福祉部長

個別の案件については、お答えできないが、市と指定管理者の関係、指導内容については、指定管理者の事業や業務が利用者のニーズに合致しているか定期的に確認が必要と考える。現場で生じる事故などについては迅速な対応が求められるため、休日でも、市役所が終了した後でもすぐに対応できる体制にした。

議員

宿題やカリキュラムの設定などがあると思うが、学童保育の本筋は遊びにある。この観点を貫いてほしい。

議員

水海道市街地整備事業の概要について伺う。

政策調整監

本市では、コンパクトな街づくりを推進し将来にわたり市内の生活利便性を維持・向上させていくため令和3年3月に常総市立地適正化計画を策定している。この計画に基づいて水海道公民館、水海道児童センター、常総市保健センター、旧報徳銀行及び市民の広場の五つの公共施設等の移転、または改修事業を一体的に進めるものである。さらに、これらの新たにできる各拠点を結び、まちの回遊性を高めるため、エリア内の道路、公園の改修を併せて進める計画となっている。

議員

水海道市街地整備事業の中心となる水海道公民館及び水海道児童センター等複合施設の整備について伺う。

教育部長

複合施設の整備については、市民の広場と一体的に活用ができ、地域住民の交流の場、生涯学習の



中島 義昭 議員

質問

水海道市街地整備事業について

答弁  
子育て環境が充実し活気に満ちあふれた水海道中心市街地を目標とする

中島議員の  
質問動画



場及び子育て支援の場を充実させ、多世代交流を可能とする施設を指して整備を進めていく。

この整備にあたっては昨年、官民連携手法の一つであるテーマ型民間提案制度を活用して整備事業者を公募し、選定した。

議員

国の運用ガイドにも規定されている事業者選定プロセスによって適正に選定されていることが確認でき、安心した。次に複合施設内に整備されるにぎわい交流創出施設について伺う。

資産活用課長

令和6年度から新たに補助の対象になった施設である。本市が取り組む水海道市街地整備事業が全国で初めての事例と伺っている。この場所で施設利用者同士の交流が生まれ、多世代交流の場として複合施設の中心スペースになる。

議員

官民連携で施設の整備運営が行われる全国初の事例が水海道市街地から誕生するということで大変うれしく思っている。

用語

【テーマ型民間提案制度】市から民間事業者へテーマを掲示し、そのテーマに対する効果的な解決策を、民間事業者独自の視点で自由に提案いただく制度。



中村 安雄 議員

質問  
坂手地区新産業用地開発の現状と今後の取り組みについて

答弁  
短期間での事業推進、企業誘致による地域経済の活性化を支援していく

中村議員の質問動画



議員  
坂手地区新産業用地開発の現状と今後の取り組みについて伺う。

都市建設部長

坂手工業団地東北地区については、令和6年7月には地域未来投資促進法に基づいて、市が作成した土地利用調整計画が県の同意を受け、同年8月には事業者が申請した地域経済経営事業計画も県の承認を得て、事業化に向けて順調に進捗している。また、令和5年12月には坂手地区まちづくり協議会が設立され、令和6年6月要望書が提出されている。市としても本地区の事業化推進は地域住民の総意として捉え、横断的に対応しているところである。

本地区の現状として、農地法や都市計画法に基づく各種認可について具体的な協議を行っている状況である。短期間での事業推進、また企業誘致による地域雇用の創出と地域経済の活性化につながるよう、引き続き支援していきたいと考えている。

議員

国が短期間で開発を進めていく

一般質問

質問  
このことを大変心強く思っている。

次に、産業団地開発が市政運営に大変重要な財政力向上に繋がると思われるが、今後、財政力指数・公債費などにどのような影響があるか市の見解を伺う。

総務部長



将来、企業が立地することで固定資産税等の税収が増加した場合には、財政力指数の上昇にもつながるものと考えている。一方で、開発に伴い市が行うインフラ整備等における地方債の発行額が大きくなると、利子も含め、その償還に伴い、自由に使えるお金が減ることとなる。これらを総合的に考えながら地方債の発行を抑制しつつ、産業団地開発による税収の増加を目指すことで財政の健全化に努めていく。

議員

本開発を成功させ、全てがプラスになるような体制づくりを、全面的に行政側も協力しながら取り組んでいただきたい。最終的に市民に喜ばれるような体制づくりをお願いする。



坂野 茂実 議員

質問  
害獣対策と当市の被害状況について

答弁  
環境的な背景が大きく変化しており、部や課をまたいだ対応が必要になるため、今後は整理対応していく

坂野議員の質問動画



議員  
農地における害獣対策と当市の被害状況と対応について伺う。

産業振興部長

特定外来生物の中でもアライグマに関しては、敵対する動物がないため増加傾向にある。農作物の被害だけでなく、民家に侵入し、屋根裏に巣を作り繁殖することから、県では防除実施方針を作成し、市町村と連携して捕獲防除に力を入れていく。

当市の捕獲頭数別被害状況としては、農作物被害が4頭、敷地侵入及び趣味の家庭菜園などの生活環境被害が35頭となっている。

議員

農作物には家庭菜園の作物も含まれるか。

農業政策課長

農業者が生計を立てるために栽培する作物と捉えており、家庭菜園等趣味の作物は想定していない。

議員

家庭菜園や敷地侵入等の生活環境被害が35頭と圧倒的に多いにもかかわらず、農業政策課では対応できないということになるのか。生

質問  
害獣被害を減らすことなど、到底無理なのではないかと考える。農業政策課が作物被害以外に手をつけれないのであれば、生活環境被害に対して市の環境部門を所掌する部署で対応はできないのか伺う。

答弁  
今後、害獣の被害を減らすため関係各課と協議を重ね、農作物以外の対応の在り方というのを考えていきたい。

議員



活環境被害に対し、市民任せでは害獣被害を減らすことなど、到底無理なのではないかと考える。農業政策課が作物被害以外に手をつけれないのであれば、生活環境被害に対して市の環境部門を所掌する部署で対応はできないのか伺う。

農業政策課長

今後、害獣の被害を減らすため関係各課と協議を重ね、農作物以外の対応の在り方というのを考えていきたい。

議員

箱かなで捕獲をした後の対応に不信感を持っている方が多い。捕獲後の対応について伺う。

農業政策課長

アライグマは、捕獲後に市役所に持ち込んでいただければ処分するが、ハクビシンは法律上市役所で対応できないため、ご自身で処分をお願いしている。

産業振興部長

今後は、市民の皆さんにも自衛策を講じていただきながら、市としても対応の在り方を見直していきたいと考えている。



佐藤 剛史 議員

質問

石下地区市街地まちづくり事業について

答弁

地域の皆さんの要望を考慮しながら整備箇所を定めたい

佐藤議員の質問動画



議員

道路インフラについて、既存路線を活用して駅周辺と東部拠点とのネットワークを整備すること及び既存市街地の回遊性向上を図るため県で整備を進める県道石下停車場線と連携したインフラ整備をするとのことだが、これらを考えると、石下停車場線を石下駅東口のロータリーへ抜く道路の整備が必要と考えるが、当市の見解を伺う。

政策調整監

道路整備は既存路線を活用してネットワークを整備することが現計画の方針であり、議員指摘の県道石下停車場線を石下駅の東側ロータリーへ抜く新規の道路計画までは想定していない。県道石下停車場線自体が都市計画道路であり、これにつなぐ道路となると完成後は一定規模の幹線道路になるものと想定する。これらを計画する上では総合計画、常総未来創生プランをはじめ、都市計画マスタープラン等の変更、また延伸にかかる鉄道事業者との事前調整、県との協議等も必要になり、相当数、時間

を要するものになる。しかし、石下地区市街地まちづくりについては、水海道地区市街地まちづくりに引き続き市長3期目の政策でもあり、ぜひとも実施したく、これまでに市で行った石下地区でのワークショップ、市民懇談会など市民の皆さんからいただいた意見を集約してまちづくりのニーズ把握を進めているところである。基本的には現計画との整合は図りつつ、未利用地などの市の課題解決のための事業はもちろんのこと、地域の皆さんの要望を考慮しながら整備箇所を定めたい。議員指摘の道路整備についても全体のまちづくりの中で考えていきたい。

議員

県道石下停車場線はフル活用していただきたい。様々な計画や協議も必要になるが石下地区におけるインフラ整備の目玉になり得るインフラ整備がもたらす石下駅周辺におけるにぎわい創出、石下地区の中心市街地の再生と東西拠点機能の強化に欠かせない考え方である。ぜひ前向きな検討をお願いしたい。



茂田 信三 議員

質問

悪いことでも名前を変えればいいのか

答弁

適当な名称を考案

茂田議員の質問動画



議員

38歳から議員をしているが、皆さんの税金をいかに有意義かつ公正に扱うかいつも念頭におき市政に携わっている。たばこ売上功労金は誰も納得できない。

産業振興部長

前回の答弁は説明不足で迷惑をかけ深くおわび申し上げる。

議員

今まで総額でいくら支出したか。順次減額することのだが、何故今すぐ廃止にしないのか。

産業振興部長

平成18年から令和6年まで総額4992万8千円である。

議員

たばこ功労金という項目がないが廃止にしたのか。

商工観光課長

市内販売促進活動謝礼に名称を変更した。

議員

たばこ功労金は違法だと思う。特定業者に多額のお金を払うのはキックバックではないか。名古屋高裁の判決で納税組合の還付金が違法であるのとまったく同じであ

る。断じて許されないことである。

商工観光課長

特定の業者へと誤解を招くため名称を変更した。

議員

どうして正しいと思ってやってきたことに対し名称を変えるのか。それこそごまかしてある。約五千万は非常に大きい金額である。

商工観光課長

言葉足らずで申し訳ない。受動喫煙の防止、環境整備である。

議員

都合が悪いと一秒で答えを変える。全く整合性がない。

商工観光課長

説明不足で申し訳ない。

議員

領収証をもらっているか渡し切りか。

商工観光課長

もらっていない渡し切りである

議員

清掃費約2百万円は法外であり、誰でももらえるわけではない。市内販売促進謝礼金は、一般の企業は該当しない。誰が考えても自然かつおかしい話である。

令和7年3月

# 定例会議 審議案件と結果

色の付いていない部分は全会一致、■色付き部分は賛否が分かれた案件で13ページに掲載しております。

議案番号	議案名	内容	審議結果
議案第47号	訴えの提起について	公共施設窃盗事件に係る支払督促の申立てに対し、相手方から督促異議の申立てがなされたことから民事訴訟法第395条の規定により訴えの提起があったものとみなされることとなるため、地方自治法第96条第1項第12号の規定に基づき、提出するもの	可決
議案第48号	常総市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	総合計画審議会の委員及びまち・ひと・しごと創生総合戦略会議の委員に係る報酬の額を改めるもの	可決
議案第49号	常総市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について	非常勤消防団員の処遇改善を図ることを目的に、消防団員退職報償金の勤務年数区分に、新たに35年以上の区分を追加するもの	可決
議案第50号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	刑法等の一部を改正する法律の施行により、懲役及び禁錮が廃止され、これらに代えて新たに拘禁刑が創設されることから、関係条例の一部の改正を行うもの	可決
議案第51号	常総市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	令和6年8月8日に人事院から公務員給与の改定が勧告されたことを受け、当該人事院勧告に準拠して一般職に属する職員の給与の月額並びに期末手当及び勤勉手当の支給割合を改めるほか、地域手当及び扶養手当に関する規定の改正その他所要の改正を行うもの	可決
議案第52号	常総市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	人事院勧告に基づく一般職に属する職員の給与改定に準じて、市長等特別職に支給する期末手当の支給割合を改正するもの	可決
議案第53号	常総市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	職員が仕事と生活の両立をしやすいとするため、時間外勤務の免除の対象となる子の範囲の拡大、仕事と介護の両立支援制度を利用しやすい勤務環境の整備に関する規定等を定める改正を行うもの	可決
議案第54号	常総市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	部分休業の承認に関する規定について、条例中で引用する法律が改正されたことから、引用する条項の整合を図る改正を行うもの	可決
議案第55号	常総市公共施設整備基金条例の一部を改正する条例について	当市の公共施設の多くが建設後40年を超え、今後それらの更新や長寿命化に対応していく必要があることから、公共施設整備基金の設置目的に大規模改修事業を加える改正を行うもの	可決
議案第56号	常総市ふるさと応援寄附金基金条例について	当初予算額以上のふるさと応援寄附金、いわゆるふるさと納税があった際に、これを積み立て、翌年度以降の政策的な事業の財源とするふるさと応援寄附金基金を設置するもの	可決
議案第57号	常総市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	地方公共団体情報システムの標準化に伴い、一元的に住登外者の登録及び管理を行う機能を扱う事務に係る規定を整備するほか、所要の改正を行うもの	可決
議案第58号	常総市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	国民健康保険税の税率等を改正するほか所要の改正を行うもの	可決
議案第59号	常総市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	後期高齢者医療保険料の普通徴収に係る納期を、市税、介護保険料等と同様の納期に改めるほか所要の改正を行うもの	可決
議案第60号	常総市石下総合福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	石下総合福祉センターにおける入浴施設及びカラオケ機器を廃止することから、これらに係る規定を整理する改正を行うもの	可決
議案第61号	常総市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める厚生労働省令が改正されたことに伴い、条例中の栄養士の配置等に関する要件を省令と同様の内容に改めるもの	可決
議案第62号	常総市保育所設置条例の一部を改正する条例について	常総市水海道第二保育所について、令和7年3月31日をもって廃止するもの	可決
議案第63号	常総市市民の広場の設置及び管理に関する条例について	中心市街地の活性化を図るため、常総市市民の広場を公の施設として設置することとし、その設置及び管理に必要な事項を定めるもの	可決
議案第64号	常総市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例について	地造成及び特定盛土等規制法に合わせ、茨城県土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例が改正されることから、市条例においてもこれに対応するための改正を行うほか、刑法の一部改正に合わせた用語の改正等を行うもの	可決
議案第65号	常総市手数料条例の一部を改正する条例について	茨城県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の改正に伴い、宅地造成及び特定盛土等規制法の事務の一部が県から市へ移譲されることから、手数料を徴収すべき事項として、宅地造成又は特定盛土等に関する工事中間検査に係る事項を加える改正を行うもの	可決
議案第66号	市道の路線の廃止について（西786号線）	向石下地内の路線について、鬼怒川緊急対策プロジェクトによる堤防整備に伴い、他の路線と重複することから、その認定を廃止するもの	可決
議案第67号	市道の路線の変更について（2-0217号線）	当該路線について、鬼怒川緊急対策プロジェクトによる堤防整備に伴い、現況に即した路線とすることから、当該路線の起点及び終点を変更するもの	可決
議案第68号	市道の路線の変更について（2488号線）	花島町地内の路線について、鬼怒川緊急対策プロジェクトによる堤防整備に伴い、現況に即した路線とすることから、当該路線の終点の位置を変更するもの	可決
議案第69号	市道の路線の変更について（2507号線）	大輪町地内の路線について、鬼怒川緊急対策プロジェクトによる堤防整備に伴い、現況に即した路線とすることから、当該路線の起点及び終点の位置を変更するもの	可決

審議案件と結果

議案番号	議案名	内容	審議結果
議案第70号	市道の路線の変更について(2511号線)	大輪町地内の路線について、鬼怒川緊急対策プロジェクトによる堤防整備に伴い、現況に即した路線とすることから、当該路線の終点の位置を変更するもの	可決
議案第71号	市道の路線の変更について(2517号線)	大輪町地内の路線について、鬼怒川緊急対策プロジェクトによる堤防整備に伴い、現況に即した路線とすることから、当該路線の起点の位置を変更するもの	可決
議案第72号	市道の路線の変更について(2518号線)	大輪町地内の路線について、鬼怒川緊急対策プロジェクトによる堤防整備に伴い、現況に即した路線とすることから、当該路線の終点の位置を変更するもの	可決
議案第73号	市道の路線の変更について(西163号線)	杉山地内の路線について、鬼怒川緊急対策プロジェクトによる堤防整備に伴い、現況に即した路線とすることから、当該路線の起点の位置を変更するもの	可決
議案第74号	市道の路線の変更について(西164号線)	杉山地内の路線について、鬼怒川緊急対策プロジェクトによる堤防整備に伴い、現況に即した路線とすることから、当該路線の終点の位置を変更するもの	可決
議案第75号	市道の路線の変更について(西790号線)	篠山地内の路線について、鬼怒川緊急対策プロジェクトによる堤防整備に伴い、現況に即した路線とすることから、当該路線の起点及び終点の位置を変更するもの	可決
議案第76号	市道の路線の変更について(西791号線)	篠山地内の路線について、鬼怒川緊急対策プロジェクトによる堤防整備に伴い、現況に即した路線とすることから、当該路線の起点の位置を変更するもの	可決
議案第77号	市道の路線の変更について(西859号線)	蔵持地内の路線について、鬼怒川緊急対策プロジェクトによる堤防整備に伴い、現況に即した路線とすることから、当該路線の起点の位置を変更するもの	可決
議案第78号	市道の路線の変更について(2-0208号線)	当該路線について、鬼怒川サイクリングロードに接続させるとともに、現況に即した路線とすることから、当該路線の終点の位置を変更するもの	可決
議案第79号	市道の路線の変更について(2417号線)	花鳥町地内の路線について、鬼怒川サイクリングロードに接続させるとともに、現況に即した路線とすることから、当該路線の起点及び終点の位置を変更するもの	可決
議案第80号	市道の路線の変更について(2506号線)	大輪町地内の路線について、鬼怒川サイクリングロードに接続させるとともに、現況に即した路線とすることから、当該路線の起点及び終点の位置を変更するもの	可決
議案第81号	市道の路線の変更について(西160号線)	当該路線の一部が鬼怒川サイクリングロードと重複することから当該重複する部分を廃止するとともに、現況に即した路線とすることとし、当該路線の起点及び終点の位置を変更するもの	可決
議案第82号	市道の路線の変更について(西784号線)	篠山地内の路線について、鬼怒川サイクリングロードに接続させるとともに、現況に即した路線とすることから、当該路線の終点の位置を変更するもの	可決
議案第83号	市道の路線の変更について(西785号線)	向石下地内の路線について、鬼怒川サイクリングロードに接続させるとともに、現況に即した路線とすることから、当該路線の起点及び終点の位置を変更するもの	可決
議案第84号	市道の路線の変更について(西796号線)	篠山地内の路線について、鬼怒川サイクリングロードに接続させるとともに、現況に即した路線とすることから、当該路線の起点の位置を変更するもの	可決
議案第85号	市道の路線の変更について(西829号線)	篠山地内の路線について、鬼怒川サイクリングロードに接続させるとともに、現況に即した路線とすることから、当該路線の起点及び終点の位置を変更するもの	可決
議案第86号	市道の路線の変更について(西833号線)	蔵持地内の路線について、鬼怒川サイクリングロードに接続させるとともに、現況に即した路線とすることから、当該路線の起点及び終点の位置を変更するもの	可決
議案第87号	市道の路線の変更について(西834号線)	篠山地内の路線について、鬼怒川サイクリングロードに接続させるとともに、現況に即した路線とすることから、当該路線の起点の位置を変更するもの	可決
議案第88号	市道の路線の変更について(西854号線)	蔵持地内の路線について、鬼怒川サイクリングロードに接続させるとともに、現況に即した路線とすることから、当該路線の起点の位置を変更するもの	可決
議案第89号	市道の路線の変更について(西858号線)	蔵持地内の路線について、鬼怒川サイクリングロードに接続させるとともに、現況に即した路線とすることから、当該路線の起点の位置を変更するもの	可決
議案第90号	市道の路線の変更について(西860号線)	蔵持地内の路線について、鬼怒川サイクリングロードに接続させるとともに、現況に即した路線とすることから、当該路線の終点の位置を変更するもの	可決
議案第91号	市道の路線の変更について(西989号線)	古間木地内の路線について、鬼怒川サイクリングロードに接続させるとともに、現況に即した路線とすることから、当該路線の起点の位置を変更するもの	可決
議案第92号	市道の路線の変更について(西1222号線)	古間木地内の路線について、鬼怒川サイクリングロードに接続させるとともに、現況に即した路線とすることから、当該路線の起点及び終点の位置を変更するもの	可決
議案第93号	市道の路線の認定について(東930号線)	新石下地内の路線について、民間の開発行為に伴って市に帰属されたことから、市道として認定するもの	可決
議案第94号	令和6年度常総市一般会計補正予算(第7号)	補正予算の増額分 12億1,802万1,000円 補正予算後の総額 268億8,855万5,000円	可決
議案第95号	令和6年度常総市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	補正予算の増額分 393万7,000円 補正予算後の総額 62億5,533万5,000円	可決
議案第96号	令和6年度常総市水道事業会計補正予算(第2号)	資本的収入 7億1,322万7,000円 支出 10億9,404万円	可決

議案番号	議案名	内容	審議結果
議案第97号	令和7年度常総市一般会計予算	歳入歳出の総額 263億2,000万円 (前年比 29億2,000万円増額 12.5%増)	可決
議案第98号	令和7年度常総市国民健康保険特別会計予算	歳入歳出の総額 61億6,194万8,000円	可決
議案第99号	令和7年度常総市後期高齢者医療特別会計予算	歳入歳出の総額 16億7,458万2,000円	可決
議案第100号	令和7年度常総市介護保険特別会計予算	歳入歳出の総額 56億5,018万7,000円	可決
議案第101号	令和7年度常総市介護サービス事業特別会計予算	歳入歳出の総額 2,432万3,000円	可決
議案第102号	令和7年度常総市水道事業会計予算	収益的予算 収入 16億802万7,000円 支出 15億3,749万1,000円 資本的予算 収入 1億7,640万円 支出 5億1,532万9,000円	可決
議案第103号	令和7年度常総市下水道事業会計予算	収益的予算 収入・支出 15億3,405万8,000円 資本的予算 収入 13億7,510万7,000円 支出 17億1,822万5,000円	可決
議案第104号	最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書提出について	請願1号の採択により、議会としての意見書を提出するもの	可決
議案第105号	常総市議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例について	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が改正されることから、条例中で引用する条項の整合を図るとともに、刑法の一部改正に合わせ用語を改めるほか、所要の改正を行うもの	可決
議案第106号	常総市副市長の選任につき同意を求めることについて	令和7年3月31日をもって辞任することから、新たに小淵康正氏を選任するもの	同意
議案第107号	常総市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	令和7年3月31日をもって辞任することから、新たに服部仁一氏を任命するもの	同意
請願第1号	「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願書	・政府は、全国一律最低賃金制度を確立し、地域間格差を縮小させるための施策を進めること ・政府は、最低賃金の引き上げとセットに税や社会保険料の事業主負担の軽減など中小企業への具体的経済支援策を国の責任として拡充すること ・茨城地方最低賃金審議会は、茨城県の最低賃金を令和6年10月に1,000円以上に引き上げ、1,500円をめざすこと 以上の件に関する意見書を、政府および関係機関への提出することを求めるもの	採択
推薦第5号	人権擁護委員の推薦について	令和7年6月30日をもって任期満了となることから、引き続き近藤勲淳氏を推薦するもの	推薦

※議長は採決に加わらない

《会議の欠席等の状況》

3月5日 【本会議】(遅参) 倉持 守  
3月11日 【予算特別委員会】(遅参) 中村安雄  
3月19日、3月21日 【常任委員会】(欠席) 茂田信三

## 令和7年3月

# 定例会議 議員の賛否

議案などに対して賛否の分かれたものを掲載しています。 ★議員氏名は、会派ごとに議席番号順で掲載しています。

○：賛成 ×：反対 棄：棄権

議案番号	常総の志						令明会						無所属の会		未来		日本共産党	立憲民主党	会派所属無し	
	中島 義昭	塚本 治男	倉持 守	中村 博美	中村 安雄	坂巻 文夫	佐藤 剛史	柳井 真吾	石塚 剛	草間 典夫	吉原 晴照	大澤 清	岡野 一男	坂野 茂実	小林 剛	堀越 道男	入江 赴史	柴 典明	茂田 信三	
議案第58号	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
議案第94号	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	
議案第97号	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	×	
議案第98号	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
議案第104号	×	○	○	×	○	※	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	
請願第1号	×	○	○	×	○	※	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	

※議長は採決に加わらない

# 50年の感謝を込めて、ありがとう鬼怒中学校



鬼怒中学校は昭和49年4月に旧三妻中学校と旧五箇中学校の統合により「水海道市立鬼怒中学校」となり、創立50周年を迎えて閉校することとなりました。閉校式典では坂巻議長から最後の卒業生たちへ、未来へのエールが送られました。



## 閉校式典を開催

令和7年3月8日、鬼怒中学校で生徒、保護者、関係者、また市議会からも多数議員が参加し、閉校記念式典が開催されました。

## 最後の卒業式

令和7年3月11日、卒業式が開催されました。市議会からも最後の卒業生18名の卒業を見届けました。



## 審議・可決した予算の主な事業

令和7年3月定例会議では、来年度のお金の使い方（予算）を確認する大切な審議を実施いたしました。様々な事業に対して質疑をし、予算が適正なものかをチェックした結果、令和7年度予算は可決となりました。今回は審議・可決した主な事業を紹介いたします。

## 子どもまんなかまちづくり常総

### 水海道地区市街地まちづくり事業

子育て環境が充実し  
活気満ち溢れた  
市街地の実現！

公共施設の改修や集約整備を官民連携で実施するとともに、公園・歩行者通行空間を改修して利便性の向上と親子が安心して利用できる環境を整備し、市民主体による賑わい創出を支援するもの。



●整備予定の水海道公民館及び水海道児童センター複合施設 イメージ図

ありがとう鬼怒中学校

予算の主な事業

# さらなる防災先進都市の確立

## 防犯対策補助事業

安心安全なまちづくりのための防犯対策を推進

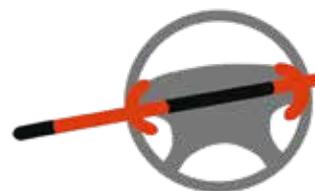
防犯カメラ等の防犯対策用品の購入・設置を行う市民への支援を行う。

### ■対象と補助額

防犯対策用品の購入及び設置費用2分の1

※ただし、市内の店舗・業者または入札参加資格者で新品購入する場合のみ

- ・防犯カメラ、防犯カメラ付インターホン（上限：3万円）
- ・センサー付きライト、防犯フィルム、自動車用ハンドルロック、自動車用タイヤロック、青色回転灯（上限：1万円）



### ■期 間

令和7年6月2日～令和8年2月27日

※補助が予算額に達した時点で終了

## その他事業等

常総市が誕生して  
20周年！市民の  
誇り・郷土愛の醸成！

## 合併20周年記念事業

令和7年度は旧水海道市と旧石下町が合併し、常総市が誕生して20年となる節目の年。市民参加型の事業を実施し、100年後も「ずっと住み続けたいまち」になるように記念事業等を実施する。



● 20周年記念ロゴマーク

### ■主な記念事業（予定）

4月	大相撲常総場所	10月	シニアゴルフ大会
5月	常総千姫まつり	10月	サイクリングイベント
9月	常総きぬ川花火大会	11月	20周年記念式典
10月	常総 <sup>※</sup> ロゲイニング	11月	JOSO ハッピー体操コンテスト

※ロゲイニング…スタンプラリーと街歩きを掛け合わせたような内容のスポーツ

今回紹介した事業は、令和7年度実施事業の一部です。詳細は広報常総でも特集していますので、そちらも併せてご覧ください。



# 常総橋百景

第十八景

豊水橋

撮影地

常総市橋本町



**常総橋百景  
写真募集中!!**

「かけはし」では、あなたが撮影した常総市の橋百景を募集しています。撮影写真、撮影地、お名前、メッセージ（100文字程度）を添えて左記の住所にご応募ください。パソコンやスマートフォンからいばらき電子申請・届け出サービスよりご応募ください。なお、ご応募いただいた写真は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

【議会事務局】  
〒303-1850  
常総市水海道諏訪町  
3222-13  
☎0297(22)0318



応募フォーム

投稿者  
程田 耕治様

鬼怒川の河川敷に「ハルシャ菊」が群生して咲いていたので、フレミングを変えながら広角レンズにて撮影した。しかし、残念ながら翌年以降は、群生したハルシャ菊を見ることができない。

## 6月 定例会議(予定)

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	本会議 議員全員 協議会		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
8	9	10	11	12	13	14
	本会議 (一般質問)	予算特別 委員会	常任委員会 (分科会)	常任委員会 (分科会)	常任委員会 (分科会)	
15	16	17	18	19	20	21
	常任委員会 (分科会)	常任委員会 (分科会)	常任委員会 (分科会)		予算特別委員会 議員全員協議会 本会議	
22	23	24	25	26	27	28

※正式な日程は常総市議会ホームページをご覧ください。

## ▶ 常総市議会映像配信中

常総市議会中継が動画で常総市ホームページよりいつでもご覧いただけます。

<https://www.josocity.stream.jfit.co.jp>



常総市議会 中継

## LINE facebook X 配信中!

常総市公式アカウントにて、議会の情報を配信します。ご登録をお願いいたします。



市ホームページ



## かけはし 広報委員会

- 委員長：石塚 剛
- 副委員長：柳井 真吾
- 委員：吉原 晴照
- 柴 典明
- 中島 義昭
- 入江 昶史

常総市議会議長  
坂巻 文夫

3月定例会議では令和7年度の予算について活発な議論が行われ、我々市議会としても、市民の皆様のご意見が市政に反映されるべく尽力してまいります。また、議場システムの拡充を行い、新たに会議中継映像に文字情報(字幕表示)を追加するなど、「見る」「聞く」議会中継から「見る」「聞く」「読む」議会中継に進化しました。映像と文字情報を発信することで、臨場感を味わうことができ、より身近な議会となりましたので、この機会に、ぜひ傍聴に来ていただければ幸いです。



新緑の  
眩しい季  
節となり  
ました。  
令和7年

議長のひとこと

橋百景・定例会議予定・議長のひとこと